

報道関係各位

2019年4月15日

**新たな「世界の衛生環境を改善しよう！みんなにトイレをプロジェクト」をスタート  
～安全で衛生的なトイレの設置や衛生教育などのためにユニセフに寄付へ～**

株式会社 LIXIL は、日本国内における一体型シャワートイレの売り上げの一部を、安全で衛生的なトイレの設置や衛生教育などのためにユニセフ（国連児童基金）へ寄付する「世界の衛生環境を改善しよう！みんなにトイレをプロジェクト」を2019年6月～11月まで実施します。



LIXIL では、「グローバルな衛生課題の解決」をコーポレート・レスポンシビリティ戦略の取り組み分野の一つとして位置づけ、2020年までに1億人の衛生環境を向上させるという目標を掲げています。目標を達成するために寄付から成り立つ支援に加えて、現地での生産、販売、設置などを行うソーシャルビジネス、さらにこれらの活動を促進するためのパートナーシップを結んでいます。

その活動の1つである「みんなにトイレをプロジェクト」は、世界の衛生課題への理解を日本国内で広めることを目的に、一体型シャワートイレ1台ご購入につき簡易式トイレシステム「SATO」1台寄付する取り組みで、過去2回\*の実施では、約40万台の「SATO」を寄付します。

※2017年4月～9月、2018年4月～9月の2回

LIXIL は、グローバルな衛生課題解決のためには、トイレの設置と同様に、「トイレの必要性」を説く啓発活動、「トイレを正しく使う」文化を形成することも重要だと考えています。

そのため LIXIL は、2018年にユニセフとグローバル・パートナーシップ「Make a Splash! みんなにトイレを」を締結しました。とりわけ不衛生な環境によって影響を受けてきた子どもたちの衛生環境の改善に目指した取り組みを展開しています。

そこで、本プロジェクトはユニセフとのグローバル・パートナーシップ締結を受けてさらに進化し、一体型シャワートイレの売り上げの一部を開発途上国へ寄付し、「Make a Splash! みんなにトイレを」パートナーシップを通じ、安全で衛生的なトイレの設置や衛生教育などに使われます。

LIXIL は今後も、グローバルな衛生課題の解決に向け、「SATO」のような革新的な製品や持続可能なビジネスを通して世界の衛生課題を解決すべく、今後も積極的な取り組みを続けてまいります。

## <参考資料>

### ■ LIXIL「世界の衛生環境を改善しよう！みんなにトイレをプロジェクト」について

本プロジェクトは、LIXIL が日本国内における一体型シャワートイレ購入につき、売り上げの一部を LIXIL とユニセフのグローバル・パートナーシップ「Make a Splash! みんなにトイレを」に寄付をします。これにより、ユニセフと一緒に安全で衛生的なトイレの設置を行うのと同時に、トイレを正しく使う教育の支援や活動を行います。

また、このプログラムから直接寄付することも可能です。



対象商品 : LIXIL の一体型シャワートイレ (全商品)

対象期間 : 2019 年 6 月～ 11 月

みんなにトイレをプロジェクト Web サイト : <https://www.lixil.co.jp/minnanitoirewopj/>

### ■ LIXIL とユニセフの「Make a Splash! みんなにトイレを」について

世界では今でも約 23 億人が安全で衛生的なトイレのない生活を送り、そのうち約 9 億人が日常的に屋外で排泄を行わなければならない生活を余儀なくされています。そこで簡易式トイレシステム「SATO」を開発する LIXIL と 100 を超える国々で公衆衛生を改善するための活動を行うユニセフは、2018 年 7 月、世界の子どもの衛生環境の改善に向けて、水と衛生の分野において革新的なグローバル・パートナーシップ「Make a Splash! みんなにトイレを」を締結しました。

このパートナーシップでは、安全で衛生的なトイレを使いたいと思う行動変容を促進し、トイレを必要とする人びとのニーズに適した製品が手頃な価格で提供されるよう、市場主導のプログラムをすすめています。その第一歩として、エチオピア、ケニア、タンザニアの 3 カ国をはじめとした 260 万人の人びとの衛生環境改善を目指しています。

※ユニセフは特定の企業やブランド、製品、サービスを推奨するものではありません。



Make a Splash! みんなにトイレを Web サイト : <https://www.lixil.com/jp/makeasplash/>